

国宝「六面石幢」修理、移設事業について

事業者 宗教法人玄武山普濟寺

- 事業内容
- ・普濟寺所有の国宝「六面石幢」を解体、京都工房に運搬して保存修理を行う。
修理後、新保存庫内に再設置する受台装置等を設けて安置する。〔保存修理事業〕
 - ・普濟寺敷地内に新保存庫を建設し、保存修理事業後に展示整備する。〔防災移設事業〕
 - ・国及び都の補助事業として行い、市も補助金を交付する。

令和4年度の事業

- 保存修理事業
- ・令和2～3年度に続き、現地に残る台石の解体作業を実施
解体作業期間 令和4年5月から6月まで
＊構成部材の全解体を終え、修理工房への運搬が終了
 - ・保存修理作業（付着物の除去、剥離片の復位等）及び再設置の検討を開始
作業及び検討期間 令和4年4月から令和5年度末（予定）まで



台石の現地解体作業



修理作業（剥離片復位）状況



設置台の検討

- 防災移設事業
- 国宝新保存庫の建設完了
工期 令和3年度から継続工事、令和4年12月終了



左）新保存庫 右）寺院収蔵施設



新保存庫 室内の施工状況

- 補助金
- 国：国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金
都：東京都文化財保存事業費補助金 市：立川市文化財保護事業費補助金

令和5年度以降の事業

- 保存修理事業 保存修理作業、再設置に係る保存台、支持体の製作、再設置工事の設計施工
- 防災移設事業 寺院自主事業により、再設置工事後の展示ガラスの設置等、展示工事の施工